

令和8年度第2回宮前区地域包括ケアシステムネットワーク会議 会議録

【会議の概要】

開催日時		令和8年8月21日（金）13時00分から14時00分まで
開催場所		宮前区役所4階 大会議室
出席者の氏名	委員 （順不同・敬称略）	小平 隆雄（田園調布学園大学） 本橋 隆子（聖マリアンナ医科大学） 亀谷 雄一郎（宮前区医師会） 福島 啓子（宮前区PTA協議会） 大久保 透（宮前区全町内・自治会連合会） 梅田 公俊（宮前区地域自立支援協議会） 小川 芳郎（宮前区民生委員児童委員協議会） 山田 礼雄（株式会社東急ストア）
	欠席委員	江木 幸代（宮前区社会福祉協議会） 足立 亮一（宮前区地域包括支援センター連絡会議）
	関係職員	櫻井 雅幸（宮前区役所副区長） 長井 武志（地域みまもり支援センター所長） 吉川 アズサ（地域みまもり支援センター副所長） 西村 正道（地域みまもり支援センター担当部長） 南端 慶子（地域支援課長） 富田 幸子（地域支援課地区支援第1係長） 成島 正浩（地域支援課地域サポート係長） 江口 大（児童家庭課長） 山田 敦（高齢・障害課長） 山口 高弘（保護課長） 大塚 晃（衛生課長） 戒田 洋一郎（宮前区役所危機管理担当課長） 松井 万帆（宮前区役所まちづくり推進部地域振興課長）
	事務局	大木 かほ里（地域ケア推進課長） 山口 広祐（地域ケア推進課 企画調整係） 森山 隆幸（地域ケア推進課 企画調整係）
	オブザーバー	高相 強志（川崎市宮前区社会福祉協議会 事務局長）
傍聴人の数		0名
議事 （公開）		（1）第8期宮前区地域福祉計画（案）について （2）今後の策定スケジュールについて （3）その他
配布資料		資料1 第8期宮前区地域福祉計画（案） 資料2 市・区地域福祉計画策定スケジュール ・宮前区地域包括ケアシステムネットワーク会議委員名簿 ・宮前区地域包括ケアシステムネットワーク会議関係者名簿 ・令和8年度第1回宮前区地域包括ケアシステムネットワーク会議席次表 ・川崎市宮前区地域包括ケアシステムネットワーク会議開催運営等要綱

【議事要旨】

発言者等	発言要旨
開会	事務局から開会の挨拶 事務局から会議公開、会議録の作成と公開について説明、傍聴人0名 江木委員、足立委員欠席
事務局	〔議事1〕第8期宮前区地域福祉計画（案）について ・事務局から、資料1に基づき第8期宮前区地域福祉計画（案）について現時点の作成状況等を説明（1ページから11ページまで）
事務局	事務局からは以上です。 御意見や御提案、御質問等ありましたら自由にいただければと思います。
小平委員	前回の計画よりもコンパクトにまとめなくてはいけないということもあると思いますが、4～5ページの地区の概況について、地区ごとに掲載できないのでしょうか。エリア割が違うと思いますが、地域包括支援センターや地域相談支援センターなどの相談窓口の紹介があるといいと感じます。
事務局	ページ数も含めてスリム化しており、それを補う資料を作成する予定もあります。おっしゃる通り様々なエリア分けがあり、町内会・自治会のほか地域包括支援センターや地域相談支援センター等を含めて、地域別に分かれて対応する機関もありますので、それがわかるように補足資料の掲載内容を検討していきたいと思います。
小平委員	10ページからの現状と課題について、見やすく直しているところだと思います。現状の三段落目「近所付き合いであいさつ程度の人」、四段落目「地域活動やボランティア活動に関すること」など、データの掲載がありません。例えばこの現状のところの中にまとめてデータを紹介する、あるいは計画の中に入れることはできないのでしょうか。
事務局	地域福祉実態調査は全体の設問数が40を超えており、ページ数が限られている中で計画を作っていくことから必要なところのみ掲載いたしました。現状と課題について数字を抜粋するなど、裏付けのある資料にしていきたいと思います。
事務局	・事務局から、資料1に基づき第8期宮前区地域福祉計画（案）について現時点の作成状況等を説明（12ページ以降）
本橋委員	子どもから高齢者、障害者も含めて見守ろうという内容ではありますが、近年、外国人の居住者が増えてきている中で、現在の計画には外国人居住者に対してのことが全く記載されていないことに疑問があります。もちろん、どれくらい増えているのかというデータがなければ、外国人に関する内容を入れる必要はないかもしれませんが、宮前区で居住、労働している外国人の方々がいるにも関わらず排除されているような印象を受けます。第8期はそのあたりも含めたグローバルな内容にした方がよいのではないのでしょうか。基本方針の中に外国人住民者への配慮など、そういうものを記載する必要があると感じました。
事務局	肌感覚として外国人市民の方が多いと感じるのは川崎市だけでなく、日本全国であると思いますので、宮前区地域福祉計画に掲載するのがよいか過去のデータと照らし合わせるなど、理解を深めながら進めてまいりたいと思います。

小平委員	第7期では「ご近助」というキーワードが使われていてインパクトもあったように感じます。第8期でも印象に残るような言葉などを使うのはいかがでしょうか。
事務局	第7期までは基本理念と基本目標を市と区で別に定めていました。第7期の宮前区の基本理念が「みんなで広げようご近助のわ～つながるを育て、安心して暮らせる町へ～」と、キーワードが伝わりやすいようになっています。 今回は市と区が共通になってしまったことで、区独自の大きなスローガンが示しづらくなっています。今回は柔らかいキーワードなどを用いていない内容になっておりますが、しっかりやっていきたいという区の姿勢の表れということでもあります。伝わりやすさという部分も大事だと思いますのでご意見を踏まえつつ、どのような表現にするか検討してまいりたいと思います。
山田委員	今の生活では、子どもからお年寄りまでスマホが必須になっていると思います。例えば宮前区全体の情報を見ることができるアプリなどを利用することで、情報をもっと気軽に、伝わりやすくなるのではないかと考えます。 ホームページなどをやっても、興味が無ければ見にいかないと思います。すぐに実現できるわけではないと思いますが、もっと便利で、情報を把握しやすく、どういうところに興味を持っているのかなど、情報が身近になるのではないかと感じました。
事務局	地域福祉計画自体の浸透度、認知度が上がらない中で、非常に重要なご意見をありがとうございます。取組自体は多岐にわたっておりますので、内容に応じてSNS等の利用を通じて、より幅広い年齢層にアピールしていきたいと思っています。
大久保委員	第8期計画が完成したら、例えば町内会・自治会などに「この計画でこのように動いてください」といったことを、どのように発信していくのでしょうか。 また、例えば、13ページの取り組み例で「推進します」と記載されていますが、町内会・自治会で既に実施しているものもあります。さらに何かをやらなければならないのかという受け取り方をしてしまう可能性もありますが、いかがでしょうか。
事務局	今回の地域福祉計画の策定作業は今年度いっぱい終了しますが、どのように広げていくかが大切になりますので、町内会・自治会をはじめ、さまざまな関係機関、団体の皆様に説明をする機会などを設けてまいりたいと思います。 地域での見守り活動は各団体においてすでに実施していることだと思いますが、この計画自体は、今まであるものに対して引き続き維持・発展させていくというものです。表現は「推進します」となっておりますが、新たに負荷をかけるものではないと認識しています。 また、町内会・自治会加入率の低下、地域で顔の見える関係が必要と言いつつも挨拶程度の交流にとどまる人が多数の現状がありますと、活動を維持することすら難しくなっていくことも予想されます。そういったことから、基本方針3の中に「多様な主体が連携して地域活動の維持・発展を目指します」と記載しました。
福島委員	昼間人口比率について、お勤めの方と、通学の方がいらっしゃると思います。 例えば小学校で中学受験するという話が出た時に、あの学校の生徒は8割が受験するといった噂がまことしやかに流れているのを聞き、不安になっている

	ご家庭があるのではないかと思います。難しいとは思いますが、そういう方のために学校ごとの中学受験率や宮前区外に通学をしている子どもの割合といった数字を示すことができるのでしょうか。
学校地域 連携課長	私どもの方でも、それぞれの学校の生徒のうち、どれぐらいの割合の子どもたちが私立を受験しているかという割合を持ち合わせておりませんし、調査もかけていないため、計画への掲載は難しいと感じております。
小川委員	必要な人に必要な情報が届かない、届きにくいということについて「広報紙、ホームページ、掲示板、地域活動とか、多様な媒体や機会を利用し」という記載がありましたが、情報が溢れて何を見ていいかわからない、だから何にも見ない、となる区民もいるのではないかと考えます。欲しい情報を、どこを見ればピンポイントで探せるのかという工夫が必要。溢れる情報を整理して、知りたい人が少ない労力で情報にたどり着けると良いと思います。
事務局	情報発信は永遠の課題であり、各区で地域福祉計画を策定しているなかでも情報発信について触れている区が多いという印象です。様々な媒体をたくさん使えばいいということではなく、それぞれの媒体を見てくださいる方を意識しながら内容に応じて作っていくことも大切だと考えています。計画にも書いてあるように、対面で届けることが効果的な場合もあると思います。媒体に限らず、いろいろな機会を通じて必要な方に必要な情報が届くよう、地域みまもり支援センター全体で意識していきたいと思います。
事務局	〔議事2〕 今後の策定スケジュールについて ・事務局から、資料2に基づき今後の策定スケジュールについて確認と説明
事務局	〔議事3〕 その他 ・事務局からの報告等なし ・委員からの情報共有等なし
事務局	本日の議事は以上となります。